第５学年　外国語学習指導案

１　単元名　　『オリジナルレストランに６年生を招待しよう』
（New Horizon Elementary 5　Unit6　What would you like?）

２ 単元の目標

・いろいろな料理名や，丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を使って，聞き取ったり答えたりすることができる。また，簡単な語句を書き写すことができる。
（知識・技能）

・丁寧に尋ねたり答えたりして，自分の思いを伝え合ったり，簡単な語句を推測しながら読んだりすることができる。
（思考力・判断力・表現力）

・他者に配慮しながら，丁寧に注文を尋ねたり答えたり，メニューについてまとまりのある話を聞いたり，感想を伝え合ったりしようとする。
（学びに向かう力，人間性等）

３　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いろいろな料理名や，丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を使って，聞き取ったり答えたりすることができる。また，簡単な語句を書き写すことができる。	６年生を招待するためのお店作りに合うオリジナル料理を考えたり，相手とのやりとりを想像して必要な会話を考えたりしている。	友達の話をよく聞きながら，丁寧に注文するやりとりをしたり，ゴールに向けて，進んで英語を使おうとしたりしている。

４　単元と指導の構想

（１）単元と児童

本単元は，New Horizon Elementary 5 「Unit6 What would you like?」を扱う。本単元は，児童にとって「お店屋さんごっこ」「レストランの料理」という，誰もが体験したことや味わったことのある身近な内容を扱っており，児童が見通しをもって活動しやすい単元と言える。また，「What would you like?」「I'd like～．」のやりとりを基本に，値段の聞き方・言い方が加わり，料理名が変わり，やりとりする相手が一緒にメニューを作った人からはじめてメニューを見る人に変わり・・・という条件の変化を繰り返していくことで，何度も同じ表現方法を使い，螺旋状に表現方法を広げていくことが可能な単元であると考える。さらに，自分はこの料理がおすすめ！というオリジナルメニューを考えさせることにより，伝えたい，この料理を選んでもらいたいという思い入れをもって主体的に取り組むことができると考える。

本単元では，４年生の「What do you want?」で学習したお店屋さんごっこを発展させ，いろいろな料理名や値段の言い方に慣れ親しんだり，丁寧な注文の仕方を学んだりすることを目標としている。そこで，身近な料理やデザート，飲み物の言い方はアクティビティを通して楽しみながら何度も声に出したり，アルファベットから予想させたりすることで，絵と言葉を結びつけたりできるようにする。また，「What would you like?」「I'd like～．」「How much is the～．」「It is 350 yen．」のやりとりに

ついては，①教科書に載っている料理名②自分たちで考えた料理名（自分たちだけで）③自分たちで考えた料理（６年生を招待して）の３段階で行うことで，少しずつ変化をしながら声に出せるようにする。さらに，相手のことを考えながらレストランの注文のやりとりを楽しむ活動を行ったり，６年生がお客さんとして来た場合に必要となるやりとりを予想させたりすることにより，英語を用いて一方的ではないコミュニケーションの場を設定する。

本学級の児童は，意欲的に学習に取り組み，素直に感情を表現する子が多い。進んで英単語を声に出したり，かるたやポインティングゲームなどを本気で楽しんだりすることができる。しかし，英語を使ったコミュニケーションを図る場面では，声が小さくなったり，日本語で伝えてしまったりすることが多い。本単元では児童の興味関心を引くような設定を設けたり，変化のある活動を繰り返したりすることで，十分に英語表現に慣れ親しませ，たくさんの英語を言えるようになった・分かるようになったという自信につなげさせたい。また，６年生という一つ先輩の人たちを招待するからには，英語を話してみたい，楽しんでもらいたいという意欲をもつことができるであろうと考える。相手意識をもって取り組めるようにしたい。そして，６年生と一緒に楽しく英語活動ができた，英語を使ってコミュニケーションができたという体験は，難しくて大変だと感じている子たちにとって，大きな自信につながると考えている。

⑵ 指導の構想

①子どもの主体的な取り組みを促す工夫

（１）相手意識をもたせる

１時間目に，4 年生のときのお店屋さんごっこを想起させ，「What do you want?」「I want～」で簡単なやりとりを行う。できる，楽しいを味わわせた上で，今単元のゴールである「6 年生をオリジナルレストランに招待しよう」とレベルアップしたものであることを知らせる。年上の人と行うので，英語でも丁寧に話す言い方があることを知らせ，「ちょっと難しそうだけどやってみたいな。」という気持ちを喚起する。

（２）自分のおすすめ料理を作ることで，相手に伝えたいという気持ちをもたせる

やりとりする料理内容に自分の思いをもたせるために，オリジナルレストランは，４～５人グループで相談しながら，一人あたり２～３このおすすめメニューを考えさせる。よって各お店のメニューは少なくて８～１５ことなる。児童がお店屋さんの立場に立ってやりとりをするときに，自分の作ったメニューを選んでもらえたら嬉しいという思いをもつことが想像される。本時で，自分のメニューを選んでもらうためにはどうしたらよいかを考えることは，主体的な取り組みにつながると考える。

②外国語でのやり取りに困り感をもつ子がいないようにするための工夫

（１）スモールステップで繰り返す

Let’s chants や Let’s sing，Starting Out などでたくさんの英語を聞かせたり，場面を変えてのやりとりを何度も繰り返し行ったりすることで，６年生を招待する際には自信をもって使えるようにしていきたい。

（２）既習事項をいつでもふり返られるようにする

学習したことが視覚的にわかるように掲示物を工夫する。情報が増えても，基本の表

現をいつでもふり返られるようにすることで，表現が増えたり，条件が変わってわからなくなったり忘れてしまったりしても，安心して声に出せるようにする。

③相手を意識しながら学習する態度や思考する必要性をもたせる工夫
・条件を変えながらやりとりを繰り返す
「What would you like?」「I'd like～」「How much is it?」「It's ～ yen.」のやりとりを行う際に，単元の中で以下のように条件を変えていくことで，表現方法に慣れ親しむと共に，相手やそのときの条件に合わせた内容を考えながら活動に取り組めるようにする。
（２～３時間目）
（１）自分が好きなものを１つだけ答える。
（２）メインメニュー，サイドメニュー，デザートの組み合わせで答える。
（３）ペアの友達が食べたいものを予想して答える。
（４～５時間目）
（４）値段を予想して答える。
（５）１０００円になる組み合わせを考えて答える。
（６～８時間目）
（６）料理を教科書のものからオリジナルに変える。
（７）自分のおすすめを選んでもらうために，説明を加える。

５ 単元の指導計画

時間	ねらい（★）と学習活動（○）	評価　（評価方法） 【知】・【思】・【主】
1	★単元のゴールを知り，学習意欲を高める。 ○Starting Out の映像を見て，活動のイメージをもつ。 ○「What do you want？」（4 年時既習学習内容）を使ってお店屋さんごっこをする。 ○ポインティングゲーム（たくさんの料理名）	（振り返りカード）
2	★丁寧な注文の仕方が分かる。 ○丁寧な注文の仕方を知る。（Starting Out２回目，Let's　Chant①） ○カードリレー（たくさんの料理名） ○味クイズ	（振り返りカード）
3	★丁寧な注文の仕方に慣れ親しむ。 ○Picture Dictionary pp8-9 を見て，巻末カード（白紙）に書き写したカードを作る。 ○ペアで注文をし合う。（Let's Chant①，Let's try①②）	【知】料理の注文のやりとりができる。 （やりとりの様子観察，Let's　try①線つなぎの様子，振り返りカード）
4	★値段の言い方に慣れ親しむ。 ○値段を想像して当てるクイズをする。（Power point，カードの裏に値段を書き，予想して一番近い	（振り返りカード）

	人がもらえるゲーム，Let's　Chant②） 〇ペアで注文をし合い，値段を聞く。	
5	★丁寧な注文の仕方，値段の言い方に慣れ親しむ。 〇ぴたり１０００円メニューをめざし，3 人グループでやりとりをする。（Ｌｅｔ's　Try③，カード交換ゲーム）	【知】数の言い方が分かり，何百何十が言える。（グループでのやりとりの様子観察，振り返りカード）
6	★オリジナルメニューを作り，３グループに分かれてお店の練習をする。 〇オリジナルメニューカードを作る。 〇オリジナルレストランごっこの練習をする。（自分たちのグループ内）	（振り返りカード）
7 本時	★丁寧な注文の仕方，値段の言い方ができる。 〇お店屋さん役とお客さん役を前後半で交代しながら，オリジナルレストランごっこをする。（違う店に買いに行く）	【知】丁寧な注文の仕方ができる。（担任とのやりとりで評価記録に残す評価①，子ども同士のやりとり観察）
8	★6 年生を招待し，レストランのやり取りを楽しむ。 〇オリジナルレストランの店員として 6 年生の注文を聞き，レストランごっこを楽しむ。	【思】英語でのやりとりを想像して必要な会話を考えている。丁寧な注文の仕方ができる。（担任とＡＬＴで分担した様子観察記録に残す評価②，振り返りカード）
9	★学習のまとめ 〇世界の料理について知る。（Over Horizon） 〇全てのメニューでレストランごっこを行い，自分のための注文と友達のための注文をする。	【主】丁寧な注文の言い方で，欲しいものや値段を伝え合おうとしている。（やりとりの様子観察，振り返りカードの変容）

６　本時の計画

(1) ねらい

　オリジナルメニューについて友達とお店屋さんごっこをする活動を通して，メニューを詳しくする説明を入れながら丁寧なやりとりができる。

(2) 構想

本時の構想

　本単元のゴールに設定した「6 年生をオリジナルレストランへ招待しよう」において相手を意識した活動を行うことで，英語を伝える必要感をもたせる。そして，6 年生と英語を話してみたい，6 年生に楽しんでもらいたいという気持ちから，自信に繋がると考える。そのために，以下の手立てを行う。

①スモールトークでモデルを示す（全体）

既習事項を振り返り，不安取り除くためにスモールトークを行う。英語表現が　多く，丁寧な伝え方ができないことが予想される。そのために，全体でスモール　トークを行い，自信をつける。

②状況に変化をもたせ，表現に慣れ親しむ場面設定

前時までに，条件を変えながらやりとりを繰り返してきた。本時では，レストランごっこを行うことで伝えることや聞き取ることが多くなる。児童はやりとりに不安を感じたり，丁寧な言い方が疎かになったりすることが考えられる。そのため，表現を十分使う機会を与え，定着するよう，本時で相手を変えた練習を3回行う。そうすることで，自信をもってメニューをおすすめしたり，丁寧な伝え方を意識させたりすることができる。

③外国語でのやり取りに困り感をもつ子への評価・児童を救う手立て

(1) 練習の後に作戦タイムを設ける。

やりとりの中で，メニューのおすすめポイントを伝える必要がある。それをどこで伝えるのかを作戦タイムで考えさせる。しかし，外国語でのやり取りに困り感をもつ子にとっては相手に合わせてやりとりをするのが難しいと考えられるため，友達と相談をしたり，教師に質問したりすることで，C児童が安心してやりとりを行えるようにしていく。

(2)　児童同士の他者評価と担任の直接評価

活動の中で外国語でのやり取りに困り感をもつ子を見つけるために，他者評価と担任の直接評価を行う。他者評価では，2人の注文のやりとりをもう一人が聞いて，チェックシートに記入する。そのチェックシートを基に，丁寧に伝えることができていたかを確認させ，表現が正しく言えたかを気付かせる。

また，担任による直接評価では，グループに入り一人ずつ正しい表現でやりとりできているかを評価していく。言えていないようであれば，活動の途中で掲示物を見せ，全員で声に出して確認をする。

この2つの評価方法で外国語でのやり取りに困り感をもつ子を抽出し見取り，助言や支援をしながら学習改善につなげていく。

(3) くり返しの確認による児童の見取り

本時の評価は，前時までに習得したWhat would you like? / I’d like ~ をやりとりの中で正しく使えたかどうかを確認するためであり，C評価の児童を見とって，担任の支援に生かす手立てとしての役割をもつ。

①Small talk で，モデルを示す。（全体）

②一人1回ずつの買い物で，他者評価により友達同士で言い方の確認をする。（グループ学習）

③作戦タイム時に，言い方に困っている児童の質問に答えながら言い方の確認をする。（外国語でのやり取りに困り感をもつ子へ個別支援）

④前半を終えて全体の話し合いをし，子どもの意識はおすすめを伝えるところにいっているが，丁寧な注文のやりとりを忘れていないかを確認することで，丁寧な注文の表現を強調する。（全体）

(3) 展開

時間	学習活動 （教師の働きかけと予想される児童の反応）	・留意点や準備するもの ■評価（評価方法）
導入 8分	①Small talk でやりとりをする。 T1　○○さん，What would you like? C1　I'd like curry and rice. T2　OK. It's spicy. C2　How much is it? T3　It's 320yen. ②前時に作ったお店に行き，注文と値段を聞くやりとりをする。（一人１回） C3 What would you like? C4 I'd like chocolate parfait and ra-men. How much is it? C5 It's 500yen.Here you are. C6 Thank you. 	・教師対子どものやりとりを何人かと行う。 ・掲示物を使って，注文の仕方を確認する。 この段階では，声だけのやりとりをし，カードやお金の受け渡しは行わない。 ■児童同士の他者評価 お店役で待つ人は，２人のやりとりを聞いて他者評価をする。（チェックシートに記入し，その場で伝える。）
展開① １５分	③学習課題を確認し，実際にお店を開くために必要なやりとりを考える。 T4 １回ずつやってみて，What would you like? I'd like～は言えましたか。チェックシートをもらってみてどうでしたか？（見本を見せる） C7 できた，大丈夫！ T5 自分のメニューを選んでもらえましたか？ C8 選んでもらえた！ C9 私は選んでもらえなくて残念だった。 T6 せっかくおすすめのメニューを作ったからね。6年生に来てもらうときにも，自分のおすすめの料理を選んでもらえたら嬉しいですよね。 学習課題　自分のおすすめのメニューを選んでもらうにはどうしたらよいだろうか。 C10 これって指さす。これ選んで！とお願いする。 C11 料理について詳しくすればいいと思う。 C12 おいしいって言えばいい。 T7 自分のおすすめのメニューに注目してもらえるように，説明を付け加えたら良さそうですね。今まで習った言い方や知っている言い方で使えそうな表現はありますか？ C13 It's delicious.	・丁寧な注文の仕方ができたかどうか，必ず立ち返らせる。 ・自分の料理を選んでもらえた子と選ばれなくて残念に思っている子がいることを全体で共有し，課題につなげる。 ・選んでもらいたいという思いを引き出すために，予想の反応が出ない場合は，たくさんのメニューで，どれをお客さんにどれを選んでもらえたら嬉しい？と直接聞き，メニューを選ばせ，どうやってそれを選んでもらえばよいかという課題につなげる。

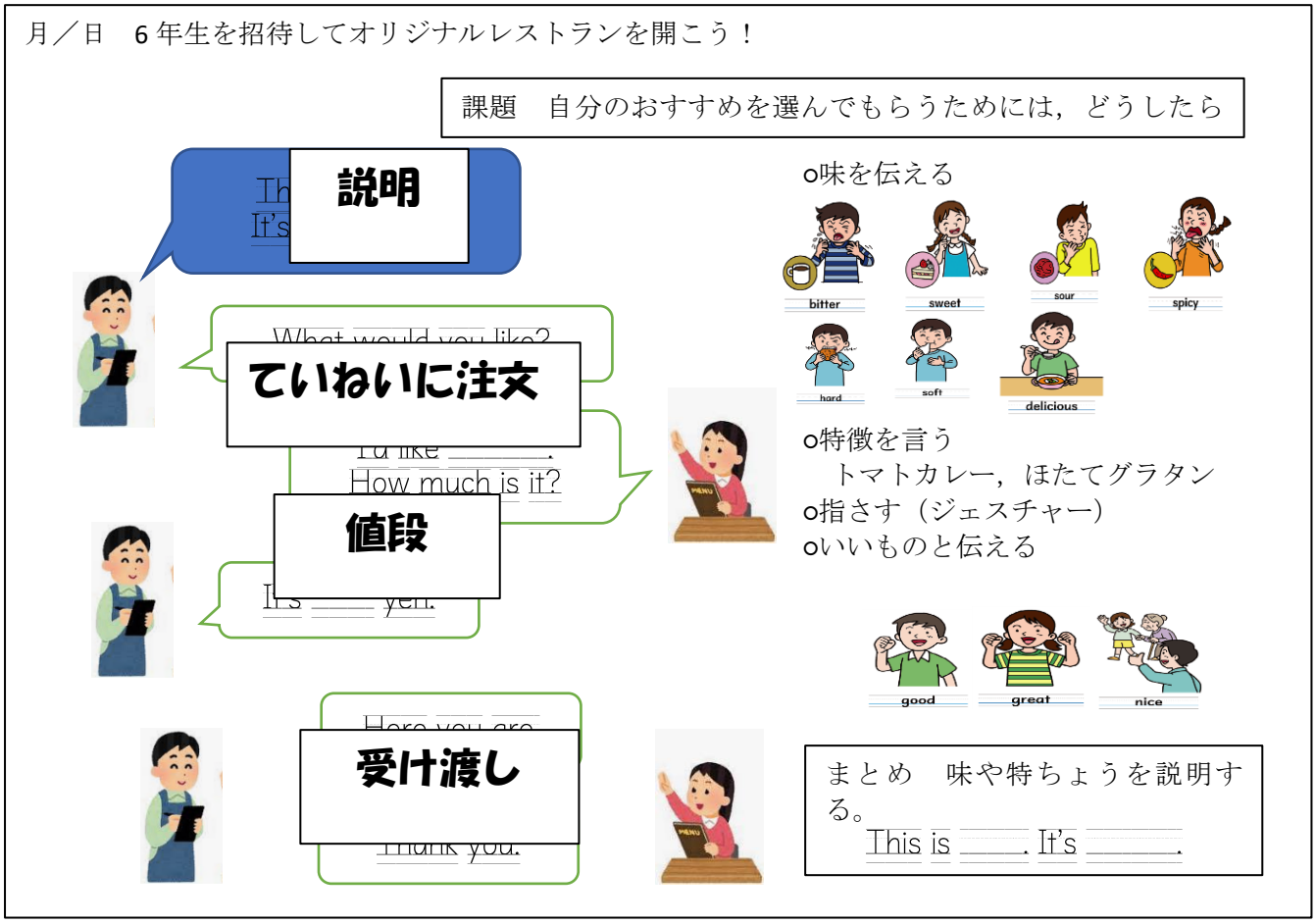
	C14 It's nice! T8 どのメニューについて話すかはっきりさせて，「This is ～．It's ～．」を使って味や特徴の説明を言えば，おすすめ料理に注目してもらえそうですね。 まとめ　This is （料理・特徴がわかる名前）． It's （味や特徴）．を使って説明を付け加えると良い。 ④グループでおすすめの言い方を確認する（5分） C15 ぼくは，抹茶パフェをおすすめしたいから，This is maccha parfait. It' s sweet and better.って言ってみよう。 C16 私は，スパゲッティをおすすめしたいけど，何て言ったらいいかな。 C17　どんなスパゲッティ？ C18 トマトソースでエビが入っていておいしい。 C19 じゃあ，トマト＆エビスパゲッティと言えばいいんじゃない？This is tomato and エビ spaghetti. C20 それなら言えそう！	・前半，後半に分かれる前に，作戦タイムを取り，何と言えば良いか友達に相談したり，教師に質問したりする時間を確保することにより，外国語でのやり取りに困り感をもつ子も安心して活動に入れるようにする。
展開② １７分	⑤前半のレストランごっこをする。（7分） T9 それではこれから，前半のお店を始めます。お店屋さんで待っている人は，チェックシートで確認して，6年生を招待するときにしっかりできるように直してあげてください。 １回の注文ではメニューは２つ以上でしましょう。必ず両方のお店へ行きます。それでも時間があったら，６年生になったつもりで別の注文をしにいってください。 Hello. / Hello. This is tomato pizza. It's very delicious. What would you like? I'd like tomato pizza and chocolate ice cream. How much is it? It's 550 yen. Here you are. / Thank you. （←お互いに） ⑥前半をやってみて，簡単に振り返る。（3分） T10 自分のおすすめを選んでもらえましたか？	・一斉にお店屋さんをはじめる前に，教師が客役，児童が店員役でやりとりのデモンストレーションを行う。 ・掲示物の英語表現を隠してイラストだけを残し，英文を読むだけにならないようにする。 ・各グループの半分２～3人がお店側の人 ・お客さん役は自分のお店以外の店のどちらにも買いに行くこととする。 ■担任が直接評価 What would you like? I'd like ～のやりとりができているかをグループに入り，聞き取る。 ・前半を振り返り，良かったところを伝える（担任）

	C21 選んでもらって嬉しかった！ T11 丁寧な言い方はできましたか？What would you like? も I'd like も正しく言えましたか。 C22 もうばっちり！ ⑦後半のレストランごっこをする。（5 分）	・言えていないようであれば，掲示物を見せて，全員で声に出して練習する。 ■担任が直接評価（同上）
振り返り 5 分	⑧活動を振り返り，カードに記入する。 T12 後半のお店をやってみて，説明は伝えられましたか。 C23 味を伝えられた。 C24 おいしいと伝えたら選んでもらえて嬉しかった。 T13 次回は 6 年生を招待してお店を開きます。丁寧な言い方でお店ができそうですか。〇〇さん，お店屋さんをお願いします。 C25 （担任とのやりとり） T14 振り返りカードを書きましょう。	・自信を付けさせたい子や本時でおすすめを選んでもらえていない子をお店屋さん役とし，教師が客役で全体の前でやりとりをしながら，次時につなげる。 ・「What would you like?」「I'd like」を使えたかを確認する項目と，やりとりを通して感じたことや次時にがんばりたいことを記述させる。

(4) 評価

丁寧な注文のやりとりができる。（知識・技能）

A…正確な表現で，丁寧に注文のやりとりができる。

B…丁寧に注文のやりとりができる。

板書計画